



健康と温泉フォーラム第72回月例研究会のご案内

- 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
共催：非営利団体地域活性学会 特定非営利活動法人日本スパ振興協会
一般財団法人日本健康開発財団 併催 温泉療法医研修会(予定)
- 日時：2017年7月27日(木) 13:30~16:45 (受付13:00から)
- 会場：東京文化会館4階中会議室 (JR上野駅公園口前)
- 定員：40名 (先着順)
- 参加費：2,000円 (会員：地域活性学会、日本健康開発財団、日本スパ振興協会、温泉療法医会、健康と温泉フォーラム) 3,000円 (一般) 無料 学生・報道関係者。当日受付でお支払いください。
- テーマ 「温泉地再生の事例研究シリーズ(1)「甦れ、開湯1300年の関金温泉」

鳥取県倉吉市の関金温泉は本年開湯1300年を迎える。養老年間(717~724年)に鶴が入浴しているところを僧の行基が発見し、その後弘法大師が温泉地として整備したと言われている山陰屈指の温泉地で、山陰と山陽を結ぶ出雲街道の関所宿場町として大いに賑わった。古い歴史と白金の湯と呼ばれる美しく透き通った湯で知られ、温泉療法医が勤める世界有数のラジウム・ラドン泉として日本の名湯百選にも選ばれているが、近年、温泉地として存続の危機に陥っている。バブル景気崩壊後、新たな観光ニーズに対応できず、経年的な観光客数の低下に伴う温泉宿泊施設の経営不振が続いていたが、数件の旅館が後継者不足や営業不振による経営危機が深刻化し、観光温泉地はもとより温泉地としてその機能衰退はいまや致命的なところまできている。数年前より、市や地元関係者によって、再生への試みが行われ、閉鎖中の老舗旅館を一部改装し、足湯などを整備する試みや、温泉まつり・バザーなど街中イベントや遊休温泉旅館の浴槽を利用した湯中運動サークル活動などが試みられているが、いずれも内向きで、域内の同好グループサークル活動の域を超えられない状況である。

このような背景の中、数年前にフォーラムが中心となって事業展開している「ラジウム・ラドン温泉広域連携会議」は、国内有数のラジウム・ラドン泉を持つ温泉地がお互いの長所や欠点を補い合い、温泉を活用した保養と療養の健康温泉地づくりを官民一体となって広域連携しようという試みで、本年は村杉温泉、三朝温泉、玉川温泉、増富温泉の開催に続き、第5回目のフォーラムが関金温泉で10月19日-20日に開催される。今回のフォーラムはラジウム・ラドン温泉地のみならず、全国の健康づくりを目指す温泉地から参加を募集し、健康と温泉フォーラム2017 in 倉吉「地域と共に生きる温泉-健康づくり、人づくり、街づくり」をテーマに市民や自治体、関係団体など域内の関係者、そして国や学会、団体など全国の有識者も加わった会議となる予定です。第72回月例研究会は秋のフォーラムのテーマ・課題解決に向け、地元関金温泉関係者とフォーラム有識者の意見交流の場となることを期待し、本年度の温泉地再生の事例研究第一弾として、様々な見識をお持ちのフォーラムの関係各位のご意見を頂戴したく、ぜひご参加を検討いただきますようお願い申し上げます。

■プログラム (予定)

1300	受付
1330~1500	地元発表
1500~1515	休憩
1515~1630	オープンディスカッション Q&A
1645	閉会



E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各にをお願いします)

第72回月例研究会 (2017年7月27日 (木)) に出席します。

●お名前 (複数可)

-
-
-
-

●所属会員

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 健康と温泉フォーラム | <input type="checkbox"/> 地域活性学会 |
| <input type="checkbox"/> 日本スパ振興協会 | <input type="checkbox"/> 日本健康開発財団 |
| <input type="checkbox"/> 温泉療法医会 | <input type="checkbox"/> その他 |

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL

FAX

E-mail

携帯☎

●連絡事項 (月例研究会に関するご意見・ご要望他)